



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 カワチ薬品
 コード番号 2664 URL <http://www.cawachi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河内 伸二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小松 順嗣

TEL 0285-32-1131

四半期報告書提出予定日 平成27年10月28日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年3月16日～平成27年9月15日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	133,692	△1.3	2,262	18.0	2,935	21.3	1,787	—
27年3月期第2四半期	135,397	10.5	1,917	△49.7	2,419	△43.6	△5,872	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,855百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △5,851百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	77.26	77.23
27年3月期第2四半期	△253.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	183,420	87,483	47.7	3,781.35
27年3月期	176,530	86,061	48.7	3,720.30

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 87,472百万円 27年3月期 86,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年3月16日～平成28年3月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	263,000	1.8	4,400	56.3	5,500	45.3	2,800	—	121.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、【添付資料】2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	24,583,420 株	27年3月期	24,583,420 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,450,807 株	27年3月期	1,453,772 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	23,131,667 株	27年3月期2Q	23,121,148 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。従いまして、今後必要に応じて業績見通しの修正を行う可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年3月16日～平成27年9月15日)におけるわが国経済は、企業収益の向上や設備投資の回復及び雇用情勢の改善を背景に、緩やかな回復基調となりました。しかしながら個人消費におきましては、所得改善の動きはあるものの、円安を背景とした物価上昇により実質所得の改善にまでは至らない等、消費税増税後の節約志向に拍車をかける状況もあり、先行き不透明なまま推移いたしました。

当社グループが属するドラッグストア業界におきましては、業態の垣根を越えた戦いに加え、小売各社の出店増や価格競争の熾烈化が続く等、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような中、当社グループでは、出店エリアでの更なる優位性の確保と効率化を目的に、リロケーションを中心としたスクラップ&ビルドに注力するとともに、激化する競争に対応するべく販売価格や品揃えの見直しを図る一方、健康や美容に関するカウンセリング機能の強化に努めてまいりました。

新規出店につきましては、既存地区である、栃木県に3店舗、岩手県、宮城県、群馬県、茨城県、静岡県に各1店舗、計8店舗を出店いたしました。調剤薬局につきましては、茨城県、栃木県に各1件、計2件を既存店に併設いたしました。なお、栃木県4店舗、山形県2店舗、岩手県、宮城県、茨城県、埼玉県の各1店舗、計10店舗を退店し、青森県の調剤薬局(単独)4件を閉局いたしました。

これにより当社グループの店舗数は、計295店舗(内、調剤併設84店舗)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,336億92百万円(前年同期比1.3%減)となりました。

一方、セルフレジやLED照明の導入を図る等、販売管理費の抑制に努めたこと等から、営業利益は22億62百万円(前年同期比18.0%増)、経常利益は29億35百万円(前年同期比21.3%増)、四半期純利益は17億87百万円(前年同期は四半期純損失58億72百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は1,834億20百万円(前期末比68億90百万円増)となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものであります。

負債合計は959億36百万円(同54億67百万円増)となりました。これは主に買掛金の増加によるものであります。純資産合計は874億83百万円(同14億22百万円増)となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は47.7%(同1.0ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績及び足元の状況を鑑み、平成27年4月27日に公表いたしました通期連結業績予想を修正し、売上高2,630億円、営業利益44億円、経常利益55億円、当期純利益28億円と予想しております。詳細につきましては、本日(平成27年10月27日)公表いたしました「第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提と予測に基づき作成されたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が887百万円減少し、利益剰余金が602百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月15日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,153	28,138
売掛金	2,599	2,449
商品	26,352	26,416
貯蔵品	18	21
その他	5,702	5,781
流動資産合計	55,825	62,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43,955	44,333
土地	53,633	53,585
その他(純額)	5,023	5,209
有形固定資産合計	102,613	103,127
無形固定資産		
のれん	857	750
その他	4,793	4,779
無形固定資産合計	5,651	5,530
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,967	8,818
その他	3,472	3,167
貸倒引当金	—	△32
投資その他の資産合計	12,439	11,953
固定資産合計	120,704	120,611
資産合計	176,530	183,420
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,532	42,047
1年内返済予定の長期借入金	12,330	12,343
未払法人税等	247	1,563
賞与引当金	983	1,099
ポイント引当金	293	317
店舗閉鎖損失引当金	138	5
その他	6,671	6,612
流動負債合計	57,197	63,989
固定負債		
社債	400	400
長期借入金	22,641	22,265
退職給付に係る負債	6,619	5,898
ポイント引当金	40	38
店舗閉鎖損失引当金	169	101
資産除去債務	2,099	2,070
その他	1,301	1,172
固定負債合計	33,272	31,947
負債合計	90,469	95,936

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月15日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,001	13,001
資本剰余金	14,887	14,887
利益剰余金	60,616	61,965
自己株式	△2,550	△2,544
株主資本合計	85,955	87,310
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93	162
その他の包括利益累計額合計	93	162
新株予約権	11	11
純資産合計	86,061	87,483
負債純資産合計	176,530	183,420

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月16日 至平成26年9月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月16日 至平成27年9月15日)
売上高	135,397	133,692
売上原価	107,711	105,988
売上総利益	27,685	27,703
販売費及び一般管理費	25,767	25,440
営業利益	1,917	2,262
営業外収益		
受取利息	23	23
受取配当金	2	3
協賛金収入	88	78
受取手数料	355	346
受取賃貸料	328	323
その他	161	294
営業外収益合計	960	1,069
営業外費用		
支払利息	121	91
支払手数料	73	60
賃貸収入原価	99	106
減価償却費	90	107
その他	72	29
営業外費用合計	458	395
経常利益	2,419	2,935
特別利益		
固定資産売却益	—	202
移転補償金	—	265
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	85
その他	31	47
特別利益合計	31	601
特別損失		
固定資産売却損	27	133
固定資産除却損	33	94
貸倒引当金繰入額	—	32
減損損失	6,760	—
その他	373	30
特別損失合計	7,193	290
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,743	3,247
法人税等	1,129	1,460
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5,872	1,787
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,872	1,787

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月16日 至 平成26年9月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月16日 至 平成27年9月15日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△5,872	1,787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	68
その他の包括利益合計	21	68
四半期包括利益	△5,851	1,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,851	1,855
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月16日 至 平成26年9月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月16日 至 平成27年9月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,743	3,247
減価償却費	2,373	2,441
減損損失	6,760	—
のれん償却額	107	107
固定資産除却損	33	94
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	32
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	373	△201
賞与引当金の増減額(△は減少)	△29	116
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2	21
退職給付引当金の増減額(△は減少)	167	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	167
本社移転費用引当金の増減額(△は減少)	△2	—
受取利息及び受取配当金	△25	△26
支払利息	119	91
固定資産売却損益(△は益)	26	△69
売上債権の増減額(△は増加)	102	149
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,948	△67
仕入債務の増減額(△は減少)	208	5,515
その他	2,230	△665
小計	9,653	10,953
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△115	△90
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,276	254
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,265	11,121
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,845	△2,874
有形固定資産の売却による収入	2	221
無形固定資産の取得による支出	△243	△185
長期前払費用の取得による支出	△38	△47
敷金及び保証金の差入による支出	△391	△243
敷金及び保証金の回収による収入	115	387
その他	4	40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,394	△2,701
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△670	—
長期借入れによる収入	6,000	7,000
長期借入金の返済による支出	△6,838	△7,363
自己株式の取得による支出	—	△0
自己株式の処分による収入	—	4
配当金の支払額	△1,039	△1,040
その他	△50	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,598	△1,434
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,271	6,985
現金及び現金同等物の期首残高	25,547	21,153
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,819	28,138

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年3月16日 至平成26年9月15日)

当社グループは、医薬品、化粧品、雑貨及び一般食品等の販売をする小売業を営んでおり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年3月16日 至平成27年9月15日)

当社グループは、医薬品、化粧品、雑貨及び一般食品等の販売をする小売業を営んでおり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。